



## 新学期を迎えて

新宮 樋口 正行

校庭に桜が満開の4月、新一年生6名を迎えました。

1か月後の大運動会には、かけっこに応援合戦にとたくましく健やかに成長する子ども達を見る時、先生方の児童への深い愛情を感じることができました。

私たち学校運営協議会は、一部委員の交代があったものの、そお小学校の【令和6年度の重点目標】である ①ふるさと教育 ②心の教育 ③知の教育 ④キャリア教育 これらの実践に向け、教職員・保護者・地域と一体となって、祖生の宝である「そおっ子」を見守っていきたいと思います。

なお、今年度は学校創立150周年を迎えます。明治7年(1874年)4月に寺子屋から始まり、長い年月の間に統廃合を経て今日の「そお小学校」があります。

この沿革につきましては、歴史に造詣深い河野順司様に、この「氷室のかぜ」に3回に亘り執筆していただきます。

## 祖生小学校開校150周年を迎えて

西光寺 河野 順司

明治5年の「学制」の発布を受けて、明治7年(1874)祖生村にも小学校が設立された。

しかしながら、小学校や支校が開設されるようになって、十分な資金を捻出するだけの余裕のない村でもあった。寺院や民家などありあわせの建物を利用することとなり、祖生小学は元庄屋河田氏宅、上祖生支校は西円寺、下祖生支校は浄讃寺によるスタートとなった。当初は修業年限が3年となっていたが、家庭の事情により2年未満で退学する子ども達もいた。また、明治12年の祖生村の就学率は、男子58%、女子16.6%、就学児184名で男尊女卑の風習も根強く、女の子に学問は不要という封建的なものの見方が続いていたことが映し出される。明治20年には祖生尋常小学校と改称され、修業年限は4年となる。この時期の就学率は、男子60.9%、女子20.6%、就学児245名と少しずつ伸びている。そして、明治42年には祖生尋常高等小学校隣、修業年限は6年となる。この頃には教育の重要性が認識されてきた。学校制度も三十数年を経て、やっと現在の小学校6年制となった。ほとんどの人が小学校を卒業し進学あるいは社会で働く時代になっていった。150周年を迎える2024年に、そお小学校が存続していることに改めて感謝の思いが溢れてくる。児童数こそ小規模になってきたが、子どもは“祖生の宝”という、地域のみなさんの熱い想いは今も脈々と受け継がれている。



明治～大正12年迄の祖生小学校



大正12年～昭和32年迄の祖生小学校

<写真：祖生村郷土誌より>

## 祖生地区大運動会を終えて

私は運動会開催前、4年ぶりということもあり、地域の方がどれくらい参加してくれるか不安でしたが、小学校のグラウンドには朝から驚くほどたくさんの方が集まっていました。運動会が始まると、進行がうまくいくよう世話役の方々が協力し合い、大変よく動いておられました。

また、競技に参加される方も早くから入場門に集まってくださり、スムーズに競技を進めることができました。皆様のご協力に感謝しかありません。

保育園・小学校・地域の皆様が一生懸命取り組んでおられる姿は、とってもすばらしかったです。卒業した中学生も参加して盛り上げてくれたことも、大変微笑ましかったです。

最後の後片付けもたくさんの方の協力で短時間で終わることができ、最初から最後まで本当に素晴らしい運動会でした。来年も楽しみにしています。

運動会当日、参加している方に話を聞きました。

- ・多くの方が集まって楽しんでいます。
- ・小学校に孫がいるので見に来ています。
- ・地域の方と子ども達と一緒に頑張っていてよかったです。
- ・すごい盛り上がりで楽しかったです。
- ・笑顔の絶えない運動会でした。
- ・地域の団結に役立ったと思います。

以上のような感想をいただくことができました。



## 自消自産の一步

地消地産・県消県産そんな言葉をよく聞くようになったこの頃、『食』を学ぶため5・6年生の子ども達は、今年米作りを学習します。苗作りのため5月22日にもみまきをしました。苗箱に育苗用の土を入れ、丁寧に種もみを捲き、さらに覆土をして優しく水をやり、やっと完成です。少し米作りの大変さを体験しました。その後も毎日水やりをして田植えの日を待ちました。

6月12日、いよいよ田植えの日を迎えました。昔ながらの三角田植え枠という道具を使い、一列に並んだみんなと息を合わせ一株ずつ植えていきました。最初はなかなかうまく植えられず時間内に最後までは無理かなと思っていましたが、徐々にペースが上がり、ついに最後までやりきることができました。子ども達にもやりきった感がありました。これから4ヶ月後には稲刈りを迎えます。途中の稲の様子も気かけながら、『秋』を待つて欲しいと思います。

自分の食べるお米を自分の手で作る『自消自産』の一步です。



# さつまいも苗植え



今年も、藤中仲宏様のご厚意でさつまいも苗の植え付けができました。昨今の異常気象で熱中症の心配もしましたが、幸い曇り空で子ども達にとって絶好の作業日となりました。

1・2年生13名とそお保育園の園児が、指導者の説明を受けて思い思いに苗を植えました。2年生は、昨年体験しているので、手際よく植え付けていき、1年生と園児のお世話もできて微笑ましい限りです。

藤中さんには、畑作りから苗の提供、そして指導もいただき、本当にありがとうございました。地域が一丸と也、健やかな子どもを育てることが私たちの願いです。

そお小学校児童・そお保育園の園児が楽しく交流できた最高の一日となり、秋にはたくさんのさつまいもができることを願いつつ、思い出の行事になれば良いと思っています。



# 泥んこ遊び



6月13日（木）晴れ。そお小学校から1, 2年生が小祖生畑まで歩いてやってきました。

『泥んこ遊びお願いします。』っと元気いっぱいの挨拶をして裸足で『わー』っとイッセイに田んぼの中へ入って行きました。網を持って虫を捕まえたり、追いかけてっこをしたり、先生や友達と手を繋いでゆっくりを歩いてみたり、手や足はもちろん顔や頭が泥だらけでも、みんなが田んぼの中で笑顔いっぱいです。

泥んこ遊びは、五感を使って感性感覚を養えると言われていています。泥に触ることは精神を安定させて、ストレス発散効果があるそうです。

『泥んこ遊びをさせてあげたい!』そんな先生の思いが叶った授業です。いつもと変わらない田んぼも、子供たちの楽しい思い出の場所になって嬉しそうでした。



# ようこそ先輩! in おお

平成 3 年 3 月 卒業  
西光寺 林 一馬

皆さん、こんにちは！再びご挨拶します、現在シンガポールに在住の林一馬です。

先日は、帰省時に皆さんの前で講演をさせて頂き、真剣に聞いて頂き、ありがとうございました。

皆さんにお伝えしたいのは、夢を追い求めることの大切さです。私も皆さんと同じようにこの小

学校を卒業し、将来についてたくさんの夢を描いていました。当時は英語が得意ではなく、海外で働くなんで考えもしませんでした。しかし、高校を卒業し、カナダに留学する機会を得たことで、英語を習得し、世界が広がりました。

シンガポールで自分の会社を立ち上げ、世界中の企業と仕事をする日々は本当に刺激的で、毎日が新しい挑戦です。もちろん、大変なことも多いですが、その分達成感も大きいです。皆さんにもぜひ、自分の夢を信じて、努力を続けてほしいと思います。

特に、英語は皆さんの未来を大きく開く鍵となるスキルです。英語を学ぶことで、世界中の人々とコミュニケーションを取ることができ、多くの情報や知識にアクセスすることができます。インターネットや書籍を通じて、世界中の最新の技術や知識を学ぶこともできます。英語ができるようになると、皆さんの選択肢は格段に広がります。

さらに、グローバル化が進む現代社会では、異なる文化や価値観を理解することも非常に重要です。英語を通じて、他の国や地域の人々と交流し、異なる視点を学ぶことで、自分自身の視野を広げることができます。これからの時代、国際的な視野を持つことは、どのような職業に就くにしても大きな強みとなります。

皆さん一人ひとりがもっている可能性は無限大です。どんな夢でも目標でも、それに向かって努力することで必ず達成できると信じています。そして、そのためにはまず一步を踏み出すことが大切です。小さな一步でも、それを続けることで大きな成果につながります。

私も皆さんのように小さな一步から始めました。そして、今ではシンガポールで自分の夢を実現することができました。皆さんもどうか自分の可能性を信じて夢に向かって頑張ってください。

これからの皆さんの成長と活躍を心から楽しみにしています。応援しています！



おしゃべり広場



今年度もおしゃべり広場を開催します。保護者を対象に、“嬉しかったこと・楽しかったこと”など日常の話しや子育ての悩みや不安など、みんなでおしゃべりする広場です。気軽にご参加ください。会議室で私たち元気応援サポーターがお待ちしています。

## <編集後記>

今年度も「氷室のかぜ」第1号を無事に発行することができホッと一息ついている所です。1学期も児童達といろいろな行事に参加しました。秋の収穫が楽しみな行事もたくさんあります。でも、自然にさつまいもができたり、お米が実るわけではありません。今後収穫まで見守ってくださる地域の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

また、今年度は学校創立150周年の年でもあります。「氷室のかぜ」でも3回にわたり150年の歴史を執筆していただきます。今回「明治編」、次回「大正～昭和戦前まで」第三回「戦後～今日まで」の予定です。

暑い夏はまだまだ続きます。ご自愛ください。

氷室のかぜ 編集部一同